

『自分事として捉えることが社会を変える』6年生人権発表会より

8日に6年生がこれまでの人権学習の学びの成果を発表する「人権発表会」を行いました。学びをつなぐ意味で5年生が発表会をみてくれました。また、平日にもかかわらず多くの保護者の方に参観いただいたのは大変ありがたかったです。竹田自治振興会のみなさん、学びに関わって



頂いたゲストティチャーの方、参観いただきありがとうございました。



3校時、教室でグループに分かれて行ったプレゼンでは、ロールプレイをするまでは「差別はおかしいことなんだから言い返せばいい!言い返せる!」とっていた。でも頭で考えていたことと、実際に体験してみたことは、全く違って言い返すことができなかつたこと。ロールプレイを通して『自分事』として考えることの大切さを実感したこと。ゲストティチャーの方から「あなたたち6年





生はおばちゃんたちの幸せの種や」と話して頂いたこと。

また、発表では、「あなたならどうしますか。私は・・・」という問いかけやメッセージがたくさんありました。これも『自分事』として考えたから、『自分事』として考えないと変わらないと実感したからだと思いました。

4校時の人権劇「百日かせぎ」。これもロールプレイと同じで、なってみる、役になりきることで学べるがあったと6年生の感想や表情から感じました。講師の方

からも「6年生の熱量のすごかった」と、ここまでの成長を評価いただきました。

3・4校時を参観した5年生は、6年生の伝えたかったことを感じ取り、たくさんの子が感想を伝えていました。いろんな差別、人権について考えてきた6年生の想いを引き継ぐバトンが手渡された瞬間でもありました。